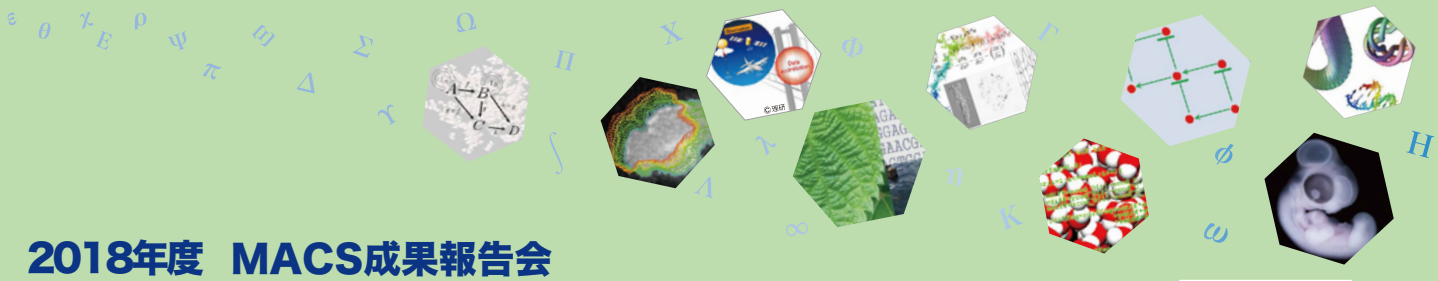


2018年度　MACS成果報告会

the7th MACSコロキウム

2/7 [木] 2019
理学部６号館南棟
401 講義室

15:00~　**ティータイム・団らん**

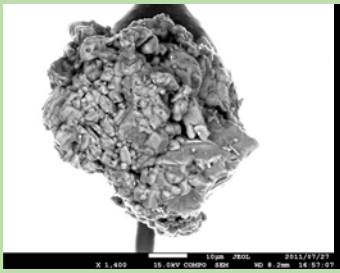
15:15~　**2018年度 MACS成果報告会**

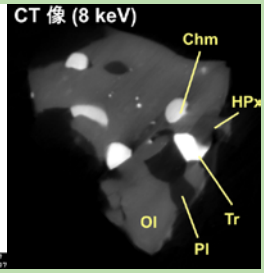
SG 1 ：データ同化の数理と応用：理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
SG 2 ：VRで見る・3Dで触る先端科学
SG 3 ：本物を見て考えよう！：脊椎動物の胚観察から数理の可能性を探る
SG 4 ：種々の実例から考えるパターン理論
SG 5 ：自然科学における統計サンプリングとモデリング：数理から実践まで
SG 6 ：自然科学へのゲーム理論的アプローチ
SG 7 ：脳科学に関わる数理
SG 8 ：数理で探求する生命現象の新たな描像
SG 9 ：疾患における集団的細胞挙動の数理モデルの開拓
SG 10：コンピュータでとことん遊ぶ
SG 11：理学におけるデータ科学実践：機械学習で自然科学を読み解けるか

16:40~　**第7回 MACSコロキウム**

～鉱物に耳をあてがう、地球と宇宙が聞こえる～
「はやぶさ」サンプルから聞こえてきたこと、「はやぶさ２」サンプルへの期待

土山 明 氏　京都大学 理学研究科 地球惑星科学専攻　教授





鉱物は地球や惑星を作る基本的な構成単位で、宇宙にも広く存在しています。鉱物を調べることにより、これらがどのようにして生成され、どのような履歴を経たかがわかります。演者は、「はやぶさ」探査機が小惑星イトカワから採取したサンプルの分析をおこなってきました。「はやぶさ」サンプル中の鉱物を例として、どのようなことがわかるかについて述べたいと思います。
また、2020 年に地球帰還が予定されている「はやぶさ２」サンプルについても大いに語りたいと思います。

17:50~　**懇親会**　＊学生無料 / 教職員 1,000 円程度

◎ 京都大学の学生・教職員はどなたでも参加できます。申し込み不要。
◎ 問い合わせ先：macs@sci.kyoto-u.ac.jp

理化学研究所 数理創造プログラム（iTHEMS）協賛
iTHEMS RIKEN interdisciplinary Theoretical & Mathematical Sciences

SCIENCE KYOTO U
MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム
macs京大　検索